

団体名	検定試験						
	試験頻度	試験料	受験資格(1次試験)	試験開催地	合格率 ※3	有資格者数 ※4	備考
1 NPO ICDS	年3回(7月・11月・3月)	¥25,200(学科試験¥10,500+実技試験¥14,700)	下記の1号、2号を両方満たすこと。 1号:短期大学卒業以上の学歴を有し、3年以上の職業経験を有する者あるいは5年以上の職業経験を有する者。※いずれも業種・職種は不問 2号:ICDS委員会認定のICDSキャリア・コンサルタント養成講座修了者または修了相当の者	長野、愛知など	78.6%(20年度第1回学科)、 80.0%(20年度第1回実技) 総合66.7%	140	
2 NPO エヌピーオー生涯学習	年3回(5月・9月・1月) 実技はその翌月。	¥20,000(通常受験:筆記試験+実技試験)、¥12,000(一部合格者:筆記、実技のどちらかのみ)	下記の1、2の条件をすべて満たしていること。 ・NPO生涯学習キャリア・コンサルタント検定委員会推奨カリキュラム、またはこれと同等以上のカリキュラムによるキャリア・コンサルタント養成講座を修了していること ・社会人としての職業経験を3年以上有していること	東京、大阪など	50.0%(第22回筆記試験) 68.1%(第22回実技試験)	1,477	検定試験はNPO生涯学習。養成講座はLEC東京リーガルマインド主催
3 (財)関西カウンセリングセンター	年2回(2月と8月。 筆記と実技は別日程)	¥26,250	・5年以上の実務経験を有し、職務経歴書で、組織における人事労務部門の実務経験、組織において社員カウンセリングの業務に従事、専任・兼任・自営を問わず進路相談・職業相談・キャリア開発研修・キャリア開発支援など、いずれかの業務に携わっていることが確認できること。 ・職業人として3年以上の社会経験を有する者、またはそれに準ずる社会経験を有する者で、財団法人関西カウンセリングセンターキャリア・コンサルタント養成講座を修了した者。	大阪	68% (21年2月実施)	445	
4 NPO キャリアカウンセリング協会	年6回原則奇数月(東京) 大阪、名古屋、福岡は別途	¥25,200(筆記9,450円、 実技15,750円)	・試験実施日までにGCDF-Japanキャリア・カウンセラートレーニングを修了であること(詳細規定あり)。 ・大学院にてカウンセリングもしくはキャリアカウンセリング関連分野を専攻し修了しており、且つ社会人経験1年以上を有する者であること。	東京、大阪、 福岡	60%(2008年)	2,750	
5 公益財団法人 日本生産性本部	年2回(2月・8月)	¥31,500 (筆記、実技各¥15,750の 合計。1次筆記、2次実技)	下記、いずれかの条件に該当すること。 ①大学、短期大学、高等専門学校、高等学校(あるいは同等以上の国内外の学校)のいずれかを卒業した方で、その後3年以上人事労務部門の実務、労働組合の役員としての業務あるいは管理職としての業務に従事した経験を有する方 ②財団法人社会経済生産性本部(現:公益財団法人日本生産性本部)の指定するキャリア・コンサルタント養成講座を修了した方 ③厚生労働省のキャリア・コンサルタント能力評価試験指定を受けている団体※が主催するキャリア・コンサルタント養成講座を修了し、かつ①の要件を満たす者 ※社団法人日本産業カウンセラー協会、日本ドレーク・ビーム・モリン株式会社、NPO法人日本キャリア・コンサルタント開発協会、NPO法人日本キャリア・マネージメント・カウンセラー協会、財団法人関西カウンセリングセンター、NPO法人キャリアカウンセリング協会、株式会社テクノファ、NPO法人ICDS、NPO法人エヌピーオー生涯学習	東京	(非公開)	557	
6 (株)テクノファ	年3~4回(1次試験のみ 実施の日程がある)	¥40,000(1次筆記+2次 実技。会員割引あり)	次のいずれかを満たしていること。 ・テクノファが主催するキャリア・カウンセラー(キャリア・コンサルタント)養成コースを修了した者 ・テクノファが主催するキャリア・カウンセラー養成コースと同等の教育プログラムを修了した者 ※具体的には、厚生労働省が定める「キャリア・コンサルタント養成モデルカリキュラム」相当の120時間以上のカリキュラムを有し、かつ、キャリア・カウンセリング(キャリア・コンサルティング)に係る実務経験を1年以上有する者 ・高等学校卒業以上の学歴を有する場合は3年以上、それ以外は、5年以上の社会人経験を有し、かつキャリア・カウンセリング(キャリア・コンサルティング)の実務経験を1年以上または30件以上の相談件数あるいは50回以上の相談経験を有する者	川崎	75% (第12回1次)、 71% (第12回2次)	93	試験定員24名
7 NPO 日本キャリア開発協会	年3回試験 1次(筆記)、2次(実技) を実施	¥36,750(1次、2次の合計) 1次¥15,750、2次¥21,000	下記の1、2両方の条件を満たすこと。 1. 短期大学・専門学校卒業以上の学歴を有し、3年以上の職業経験を有する者、あるいは5年以上の職業経験を有する者。 2. CDAカリキュラム(養成講座)修了者もしくは協会での審査の結果CDAカリキュラム修了相当の者と認められた者。	札幌、仙台、 東京、名古屋、 大阪、広島、 福岡、金沢 (1次のみ)	41.3%(第27回 1次試験)、 44.2%(第27回 2次試験)	7,621	試験及び向上研修は日本キャリア開発協会 講座は日本マンパワーなど主催
8 NPO 日本キャリア・マネージメント・カウンセラー協会	年2回(9月と2月)	一次試験(筆記)¥20,000、 二次試験(実技)¥10,000	社会人としての業務経験が3年以上の者で、次のいずれかに該当する者 1. 当協会が実施するキャリア・コンサルタント(キャリア・カウンセラー)養成講座の修了者 2. キャリア・コンサルティング(キャリア・カウンセリング)の実務経験が通算5年以上あり、所属企業・団体等からその証明が受けられる者	東京、札幌	62.6%(直近までの実施総受験者数における合格者数で計算)	347	※有資格者数は海外居住者3名含む
9 (社)日本産業カウンセラー協会	年1回(産業カウンセラー試験)、 別途キャリア・コンサルタント試験は年1回。いずれも筆記と実技の2回。	¥31,500(筆記¥10,500、 実技21,000の合算)	次の1~3のいずれかを満たしていること。 1. 産業カウンセラー試験に合格しているものであって、協会が行うキャリア・コンサルティングの学識及び技能を修得するための特別講習(A)を修了した者。あるいは、シニア産業カウンセラー試験の合格者のうち、産業カウンセラーに合格していない者であって、特別講習(A)を修了した者。あるいは、シニア産業カウンセラー試験のうち、産業カウンセラー試験に合格している者。 2. 成年に達した後に職業経験が通算3年以上ある者で、協会が指定したキャリア・コンサルティングの学識及び技能を修得するための講座(厚生労働省キャリア・コンサルタント養成モデルに準拠)又は協会がこれと同等以上の水準にあるものと指定した講座を修了した者。 3. 成年に達した後に職業相談業務又は人事労務管理に従事した期間が通算4年以上である者。	(筆記)札幌、仙台、東京、高崎、名古屋、金沢、大阪、岡山、松山、福岡、浦添。(実技)千葉、大阪	64.1%(20年度)	6,664	
10 日本ドレーク・ビーム・モリン(株)	年2回(9月、3月)	¥48,300(筆記¥18,900+ 実技¥29,400の合計)	次のいずれか。 ・職業生活3年以上で、DBMキャリアカウンセリング・マスタープログラム(OCMP)修了者。但し講座終了または本試験一部合格後2年以内(翌年度、翌々年度の試験)の方(一部合格者)。 ・職業生活3年以上で、DBMが登録をしている講座の修了者。 ・キャリアカウンセリングの実務経験者。但し、実務の種類は、企業の産業カウンセラー、人事部門の相談担当者、転職支援コンサルタント等、キャリアカウンセリング、キャリアコンサルティングが重要な要素として含まれるものを言う。期間は曜日3年以上にわたり、その間平均して週に3時間以上の実務を経験すること。	東京、大阪	68%(20年度)	254	

※3 試験開催回によって合格率は変動します。 ※4 21年3月末現在